臺灣日日新報　第一萬五千三百二十六號　（一）
（第二版）　明治卅一年五月九日第三種郵便物認可　昭和十七年十一月八日（水曜日）

臺灣新民

大東亞戰下初の明治節

天皇陛下　御親拜

嚴かな明治節祭の御儀

御鴻業偲び奉る

共榮圈内の赤子齊しく

大東亞文學者大會開幕

興亞新思想戰に宣戰

日滿華蒙代表一堂に會す

亞細亞の根源に還れ

奥村情報局次長祝辭要旨

長期戰體制に對處

生産增強に總力指向

政府今後の施策期待さる

敵の蠢動悉く封殺

武漢周邊の肅清討伐

九・十支那軍の雨季月表

沂山嶽地に殲滅戰

早くも蔣共兩軍を包圍

ジャワ原住民市長

更に八名を任命

貨物出入統制の停止

ル大統領、權限付與要求

アラギール市占領

獨軍重要軍用道路制壓

聯合國間の協力困難

特別教書中に事情開明

石渡經濟顧問

正式交渉受諾

府定員外職員

近く一括發令

印度獨立聯盟

斎藤總務長官

メキシコ軍の

海外派遣決定

英軍アダスカル

作戰狀況を發表

ビタミンC配合
お肌を美しく
ウテナ乳液

電力をお國へ捧げます
マツタラン

十一月一日號　定價四十錢
現代思想の批判
政治革新の原理
國學の世界觀
現代
十一月號

貴之日本
特輯　尊皇志士歌集
公論
三周年記念號
尊皇擁夷の大道
尊皇擁夷の大義
尊皇烈士傳
昭和戰爭經濟史

大戰下の産組は飛躍す

機構の整備を完了
國家要請の事業完遂へ
臺灣産組聯力強く發足

三輪副會長談

生活の安定　を期する為には一般消費者の組織する消費組合を通じて自給自足の態勢を確立するの外はない、而して之が為には産業組合の組織を利用するのが最も適切であり、今回の産組聯の發足は正に時宜を得たものである

理念に徹し一致協力の要

今回臺灣産業組合聯合會の發足に當り、今後の運營に關し、特に留意すべき點は、第一に理念に徹することである、産業組合は元來相互扶助の精神に基き、組合員の經濟生活の安定を圖ることを目的とするものであるから、組合の運營に當つては、常に此の理念に徹し、組合員の利益を第一義として、組合の發展を圖ることが肝要である

第二は組合員の自覺と協力の要である、産業組合は組合員の自主的組織であるから、組合員の自覺と協力とがなければ、その發展は期し得ない、組合員は組合の事業に對し、常に關心を持ち、組合の運營に積極的に參加し、組合の事業を自己の事業として、之が發展に協力しなければならない

第三は役職員の資質の向上である、産業組合の事業は、組合員の經濟生活に直接關係を有するものであるから、役職員は常に研究と修養とに努め、組合員の信頼を得るやうにしなければならない

新しき事態に即應

食糧充足に全的協力の要

臺灣の協力が絶對必要

南方協同組合建設

廣域經濟圈確立へ

農村産組の經營

"臺灣の丁抹"樹林の實際

米穀政策遂行へ

農業倉庫の積極的活用

配給報國に挺身

購買組合の使命と將來

浮動購買力吸收

市街地"信組"の使命を見る

産組の發展

市街地信組の統合必要

島内現株相場

（證券商組合調）

聖戰の戰脫

觀念を完遂へ

日清從軍會總會

臺北秋季競馬

滿洲國各地で式典を擧行

日滿經濟懇談會

菊花薫る明治の佳節

丸善の文房具
オリオンペン
アテナ萬年筆
アテナインキ
オリオン製圖用品
社團式株會社丸善

衰へた身體に精氣根氣づく
疲勞・結核諸症
胃腸衰弱に絶好
ネオオネオンは

強ければ民健し！
資生堂歯磨

外での働きに忙しい現代のご婦人、生理日のお手當も今までの當てものでは追ひつきません、ご使用にも携帯にも簡便で衛生的なごんぼんを

肝油劑の價値はA・Dの含有量で決まる
一粒のビタミンA含有量A五〇〇〇國際單位
子供のビタミンAD劑
糖衣ビオスゼリー
やはらかくてお菓子のやうに美味しい
子供の嬉ぶ肝油劑

私のソバカス取つた話！

菊花薫る明治の佳節

奉祝行事全島に展開

征戦完遂の誓ひも新た

明治天皇の御日常を御追遠

両陛下元侍従等を宮中に御召

皇太子殿下

両陛下に御祝詞言上

聖恩旗の下・若人熱闘

明治神宮國民錬成大會の幕閉づ

各宮様御揃ひで台臨

銃後若人の敢闘を御観覧

郷軍射撃に臺北支部優勝

個人優勝に福田君四等を獲得

戰ふ銃後の意氣示し

島都市民の錬成會盛況

隠れた善行者を表彰

光榮に輝く九氏感激

滿洲國各地で式典を擧行

ピルマで日本小史を披行

拜賀式

宮城で擧行

安藤軍司令官も臨場

市民の體錬繪巻を觀覧

島都の市民運動會

基隆靈泉寺第二代住職資藏和尚儀逐而四日午前十時入寂茲ニ訃告ス

沈德融

宋修法眷

信徒親族一同

當社取締役蕭坤土殿十一月三日急逝被致候間此段謹告仕候也

追而告別式八十一月四日午後一時泉町自宅ニ於テ相營ミ度候

丸臺運送株式會社

衰へた身體に精氣根氣づく

冬向呉服新柄荷着

丸吉呉服店

ラジオは中川

冬物入荷

太平藥業株式會社

姓名付ト改姓名

學

クリーニングは大洋社洗濯部へ

犬猫矢野病院

冬物新柄入荷

光永呉服店

九一四内服新藥

青帽洋服店

秋冬物の御用命は大呉服店に

東京堂藥局

實山模型飛行機部

浮血強壯精力劑ドラミン

炭の御用命は

太正堂乾電池

メガネは和田

今日の映畫

第二放送

第三放送

生活必需品配給と消費

行政と生産と配給と消費とは各別に切り離すことの出來ない關係にあつてこそ、それぞれの機能を發揮することが出來るのであつて、配給を中心とする經濟統制といふことが叫ばれてゐるが、それは生産と消費とを無視するものであつてはならない、それについては本紙でも屢々論じたところであるが、更に實際の問題について各方面の人々に語つて貰つた

戰爭長期化に伴ふ 配給機構と配給の實際

今村　配給の問題に關する限りの生活が大體に於いて安定してゐることと思ひます、それと申しますのは、配給の大きい消費者は、配給の變化といふものは餘り感じないやうに出來てゐるからであります、例へば米の配給にしましても、一般の消費者は一日二合三勺の配給を受けてゐるのでありますが、大きな工場などでは、一日に二合五勺とか三合とかいふ風に、特別の配給を受けてゐるのであります、從つて配給の變化といふものは、餘り感じないのであります、ところが、小さな消費者になりますと、一日二合三勺の配給を受けてゐるのでありますが、これが二合一勺とか二合とかいふ風に變化しますと、非常に大きな影響を受けるのであります、從つて配給の變化といふものは、大きな消費者よりも小さな消費者の方に、より大きな影響を與へるのであります、

出席者
東京市配給部長　櫻村　榮二郎
東京市配給部第一課長　三木　朝吉
東京市配給部第二課長　太田　周
東京市配給部第三課長　岡井　隆
日本女子大學教授　上田　貞子
◇消費者
國際干局長　木村たかを
江澤電機㈱社長　江澤　謙一
本鄕區會議員　山本　榮治郎
井上ふく　吉祥寺町會長　井上　ふく
日本女子大學教授　上田　貞子

江澤　私の考へでは、なるべく大きな配給機構から話が出ないやうに、小さな配給機構から話が出るやうにしたいと思ひます、

今村　大體の方針には、さう致したいと思ひますが、例へば米の配給にしましても、一般消費者の方では、配給の變化といふものは餘り感じないのでありますが、小さな消費者になりますと、非常に大きな影響を受けるのであります、從つて小さな消費者の方に、より大きな影響を與へるのであります、

三木　それでは、小さな消費者の方に、より大きな影響を與へるといふ點について、もう少し具體的にお話し願ひたいと思ひます、

今村　例へば、米の配給にしましても、一般消費者の方では、一日二合三勺の配給を受けてゐるのでありますが、これが二合一勺とか二合とかいふ風に變化し